

# Library News & Topics



愛国学園短期大学

Aikoku Gakuen Junior College

Vol. 37 (2018年7月1日発行)

愛国学園短期大学図書館運営委員会



新年度が始まって、3か月が過ぎます。最近、課題やレポート等で図書館を利用する学生さんをよく見かけます。毎年この時期は、梅雨でじめじめしているせいかイライラ度数もあがりやすくなります。そんな時は図書館で落ち着かれてみてはいかがでしょうか？館内で読書もいいですが、人が少ない書庫で過ごすのも楽しいですよ♪

ぜひ、図書館で自分だけのスペースを作ってみてください。

## 前田康智准教授のオススメ



### 『君たちはどう生きるか』

著：吉野源三郎 出版社：マガジンハウス

発行年月：2017年08月



昭和12年に発行された本ですが、長く愛されてきたベストセラーです。多くの著名人からも絶賛され、漫画化もされ、映画化も予定されています。父親を早くに亡くした中学2年生の『コペル君』が日常生活に直面するさまざまな問題を通して母方の叔父と生き方を考えて成長していく物語になっています。

タイトルの通り、「生きる」ということについて、主人公はさまざまな経験によって重く考え、叔父の教えも受けながらたくましく生きるようになります。社会の中での一人の自分というものを見つめ直すとき、クラスでいじめがあったのを目撃し自分がどう行動すべきか悩むとき、一人前の大人としてなんらかの新しい発見や生産ができる人間になれるかどうか悩むとき、貧乏生活によって周りに引け目を感じているとき、友達に嘘をつき裏切ってしまったことでその罪悪感に苦しんだときなど多くの「事件」を経験します。

その主人公が経験と教訓によって得た生き方とは、自己中心的な考え方だけでなく、世の中の一人として遠くからとらえるような視点が必要であること、自分の経験を重視し、そこから何を感じたかを深く考えること、人間は自ら行動を決定することで過ちをたびたび犯すが、過ちから苦しみ、立ち直ることができるので、それを恐れず生きていくことにあるようです。

皆さんが今悩んでいるかもしれない「生きる」を探すことのできる一冊だと思います。

他大学や新聞記事でも紹介されている書籍です。読んでみてはいかがでしょうか。

2018.3.13

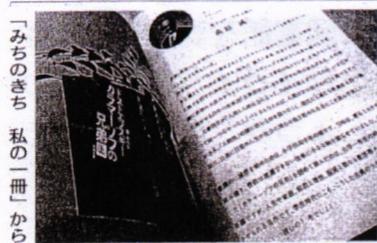
朝日新聞 (夕刊)

若者よ、少しでも本を読もう

## 著名人109人「座右の本」

国学院大が1冊に

「人生の糧にして」



「みちのきち 私の1冊」から

若者よ、少しでもいいから本を読もう。大学生の本離れを食い止めようと、幅広い分野の著名人109人が1冊ずつを紹介する本を、国学院大(東京都渋谷区)がつくった。若手職員たちが自ら依頼し、引き受けた著名人らはみんな無償で文章を寄せた。

この本は「みちのきち 私の1冊」(弘文堂)。吉野源三郎著の「君たちはどう生きるか」を紹介するジャナリストの池上彰さんから始まり、作家の池井戸潤さん、落語家の三遊亭歌る多さん、と続く。自身の「座右の本」と本への思いがこぼれ、顔ぶれは、横網の白駒翔さんから、ボク

シング元世界王者の長谷川穂積さん、俳優の戸田恵梨香さん、デザイナーの森英恵さん、さらには3メガバンクの頭取、元大臣、現職知事までと幅広い。本づくりの中心となったのは、国学院大の20〜30代の職員だ。経理や人事など課をまたいで集まった11人が「それぞれ会いたい人を中心に直撃で声をかけた」。電話やメールで300人余りに依頼し、109人が無償で寄稿してくれた。紹介される本の種類も小説やエッセーなど様々だ。

## 食物栄養専攻の学生さんへ

いよいよ後学期から学外実習が始まります。それに伴って、実習に行く前に参考にしてほしい書籍を配架いたしました。早めに必要な資料を借りることをおススメいたします。

### 【病院実習】

実習でお世話になる東京慈恵会医科大学葛飾医療センター栄養部の先生が執筆された書籍です。実習に行く前には、目を通しておくことをおすすめいたします。



### 【学校実習】

給食時における5分間指導や給食作り作成など「食に関する指導」を学ぶ上で、参考になる書籍です。

### 【事業所実習】

出版取次会社や銀行で社員の方々に喜んでいただける献立作成に役立つ書籍です。

